

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	石神 精吾	電 話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3992		事務事業名称		青少年指導育成事業					短縮コード		経常	3992	臨時	3993	
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費		目	11	青少年対策費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		○地方青少年問題協議会法○社会教育法○八千代市青少年問題協議会条例○八千代市青少年対策担当者会議設置要綱○八千代市補助金等交付規則○八千代市地区青少年健全育成連絡協議会補助金交付要綱○八千代市青少年指導員設置要綱○千葉県青少年相談員設置要綱									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
○八千代市青少年問題協議会:地方青少年問題協議会法に基づき、管内における青少年に関する施策の連絡調整を図り、その効果的推進を期し、もって青少年の健全な育成をはかるため昭和38年に設置。○八千代市青少年対策担当者会議:本市における青少年の健全育成を推進し、青少年対策の企画、連絡及び調整を図るため昭和48年に設置。○地区青少年健全育成連絡協議会:昭和52年に9地区で発足。平成12年から10地区。市内各地区の青少年関係団体の連絡調整、八千代市青少年指導員（八千代市独自の制度、同時期に発足）の推薦等を行う。○青少年相談員連絡協議会:青少年の相談相手や地域での育成活動の積極的な推進を図り、青少年の健全育成に資するため昭和38年施行「千葉県青少年相談員設置要綱」に基づき組織。○社会教育法に基づき実施。青少年教育の振興を図るため各種事業を展開し、地域の青少年教育活動の支援、推進を行う。:青少年団体指導者養成講座の実施・ふれあい教室の開催・青少年の学校外活動支援事業・青少年団体活動の支援・育成○成人式の開催																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		02	人間尊重都市をめざして							
青少年を取り巻く環境が急激に変化していく社会にあって、今後の教育のあり方として、自ら学び、自ら考え問題を解決する資質や他人と強調し、他人を思いやる「生きる力」を育成することが必要とされている。また、学校の休業時における学習機会の充実や地域活動の推進体制の整備等が必要となり、地域で子どもを育てる環境の整備や各種活動の支援等や各種団体・地域との連携を密にした事業の推進や展開が重要視されている。							大項目（節）		03	青少年健全育成							
							中 項 目		01	青少年健全育成							
							小項目（施策）		01	青少年健全育成基盤の整備							
									02	青少年健全育成事業の推進							
							細 項 目		01	健全育成体制の充実							
03	健全な環境づくりの推進																
実施計画の計画事業																	
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○青少年健全育成を目的としている機関・組織・団体等 ○補助金交付先：八千代市地区青少年健全育成連絡協議会10地区・八千代市青少年相談員連絡協議会・八千代市子ども会育成連絡協議会・ボーイスカウト八千代地区協議会・八千代市ガールスカウト3団連絡会・八千代市少年少女交歓会実行委員会・八千代市青年フォーラム・八千代市子どもセン										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ○関係機関等に対し青少年対策の概要及び青少年対策事業の施策体系別実施状況の配布○地区青少年健全育成連絡協議会の支援及び代表者で組織する地域ぐるみボランティア運営会議の活動支援○青少年相談員連絡協議会の活動支援○社会教育関係団体の育成・支援○青少年学校外活動支援事業の運営・同実行委員会の活動・設立支援○成人式の企画・運営○青少年団体活動等に関する情報の収集・提供										
	※平成19年度に計画していること： ○青少年問題協議会:管内の各青少年関連機関より推薦された学識経験者が市より委嘱され会議を行う○青少年対策担当者会議:年度当初に青少年課を除く青少年対策担当課へ前年度と当年度の青少年関連事業の報告を依頼し、これを冊子にまとめたものを資料として青少年対策施策担当課長が集まり、八千代市青少年問題協議会開催前に会議を開く○地区青少年健全育成連絡協議会の支援及び代表者で組織する地域ぐるみボランティア運営会議の活動支援○青少年相談員連絡協議会の活動支援○社会教育関係団体の育成・支援○青少年学校外活動支援事業の運営・同実行委員会の活動・設立支援○成人式の企画・運営○青少年団体活動等に関する情報の収集・提供										
意図 （何を狙っているのか）	青少年の育成活動を活発にするためには、行政機関、民間団体を問わず推進体制の整備充実が大切である。また、これらの組織間の相互の有機的な連携があってこそ効果を発揮するものである。したがって、これら育成体制の強化を図る上から、青少年問題協議会等を開催するとともに、青少年団体の活動を支援し、地域社会活動の促進を図る。										
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	関係機関や団体、地域住民の連携と参加のもと、青少年を正しく理解し、適切に指導していく体制が整備され、充実した青少年健全育成事業を推進できる。また、青少年自らが自己目的を実現するために積極的に社会参加し、自立した人間として必要な判断力や行動力、豊かな感性や人間性を身につけることができるよう健全な環境条件が整備される。また、ボランティア活動は豊かで活力ある地域社会の形成につながる。										
区 分					単位	1 7 年度		1 8 年度		1 9 年度	
						実績		計画		実績	
対象指標	指標 1	青少年健全育成を目的としている団体			団体	30		30		30	
	指標 2										
	指標 3										
活動指標	指標 1	青少年問題協議会開催数			回	1		1		0	
	指標 2	青少年健全育成を目的としている団体補助金額			円	3, 828, 162		3, 895, 000		3, 895, 000	
	指標 3										
成果指標	指標 1	地域ぐるみボランティア運営会議事業実施数			回	2		2		2	
	指標 2	学校外活動支援事業参加者数			人	7, 857		8, 000		9, 205	
	指標 3										
上位成果指標	指標 1										
	指標 2										
	指標 3										

コード	3992	事務事業名称	青少年指導育成事業				所属名	青少年課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			現状維持を保ちながら行政や各団体と協力を図り、青少年健全育成体制の充実を図るため、新子どもプラン等の多様な活動の推進、ボランティア活動への参加促進、団体、グループ活動の促進等の検討を行う。また、若い世代の指導者の育成について検討を行っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状維持のまま継続していくため、コスト・成果ともに変化はない。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
青少年学校外活動支援事業について議会で質問が出ている。	

所属長コメント	青少年の社会性、主体性を育む上で、ボランティア活動、社会体験、自然体験、文化活動、環境美化活動等の青少年の社会参加活動を推進することは極めて重要な意義を有する。このことから関係機関、学校、青少年育成団体、地域と協力、一体となっっているいろいろな体験活動を取り組むことができ、青少年の健全育成を推進することができた。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	有効性・効率性向上のための具体的な手段を検討し事業の改革改善を推進すべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		